

ゆうかい



良い年でありますように！

勝栗神社 (H19.1.1)



第8号

題字は吉松小学校4年生
境田 梨乃さん

平成18年12月定例会

<p>見 やすくなりました 傍聴席手摺りを改修</p> <p>14P</p>	<p>議員定数・報酬 3月議会までに結論 議会改革調査特別委員会</p> <p>13P</p>	<p>7人 町政を問う 一般質問</p> <p>6P</p>	<p>こんなことが 決まりました</p> <p>4P</p>	<p>一般会計 9千200万円を減額補正</p> <p>2P</p>
---	---	--	------------------------------------	--

予算
減額



93億4800万円

平成18年第4回定例会は、12月12日開会、22日までの11日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成18年度一般会計補正予算、特別会計補正予算3件のほか、条例制定2件、改正1件を原案可決し、陳情書1件を採択しました。

また、議会改革調査特別委員会では、改革の一環として今後の議員定数及び議員報酬等の内容についても議論がなされました。



宿舎



ハローワーク栗野出張所



ハローワーク栗野出張所
関連財産取得に**348**万円

ハローワーク栗野出張所が大口に統合されたため、財産を取得するものであります。今後の活用については、包括支援センター及びシルバークアセンターが入る予定であります。また、職員宿舎は築38年と古いため、修繕費用がかかり、単身者向けの町営住宅として考えています。

第4回 定例会

一般会計補正 9200万円



完成目前の調理場（北方地区）

調理場が新築されることに伴う準備経費です。
食器類は環境ホルモンを出さないポリエスチレン・ナフタレイド製を購入します。

調理場稼動準備経費 2280万円



新しくなる食器・食管

また、吉松給食センターで使用していた運搬車（1.5t）を3t車に買い替えます。これにより吉松校区の運搬が一括して行え、運搬時間の短縮が図られます。



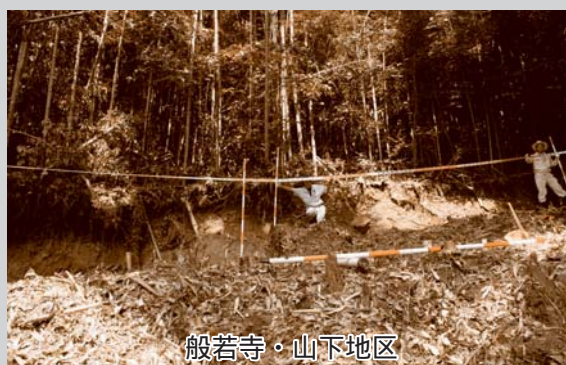
外壁の老朽化が見られる吉松中学校

耐震化優先度調査

昭和56年以前に建設された幼稚園、小・中学校の物件（9棟分）に対し、国から調査するよう要請されたもので、調査委託料330万円の計上です。

安心・安全！がけ崩れ対策事業

県単急傾斜地崩壊対策事業工事費（6箇所：栗野地区4箇所、吉松地区2箇所）として2,650万円が計上されている。



般若寺・山下地区

予 算

こんなことが

決

まりました

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第135号	国民健康保険事業特別会計補正予算「第2号」	6,900万円増額 → 15億1,100万円 【主な内訳】 保険給付費の実績に基づく今後の見込計上と交付税確定及び17年度決算確定に伴う財源調整が主なもの。	原案可決
第136号	老人保健事業特別会計補正予算「第1号」	3,500万円増額 → 23億6,700万円 【主な内訳】 歳出の医療給付費、医療費支給費の補正は、実績に基づく見込み額。歳入では支払基金交付金で、過年度分の清算確定によるもの。	原案可決
第137号	介護保険事業特別会計補正予算「第3号」	2,800万円減額 → 11億3,400万円 【主な内訳】 歳入で制度改正による2号被保険者の交付金が32%から31%に1%引き下げられたことと、施設に係わる国の負担率が20%から15%に引き下げられその分の5%が県に委譲されたこと、また17年度の決算確定による補正が主なもの。	原案可決
第140号	一般会計補正予算「第9号」	760万円増額 → 93億5,000万円 【主な内訳】 県北部豪雨被害義援金分配金とシルバーケアセンターの泉源調査に係る費用。	原案可決

条例制定

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第131号	安全・安心まづくり条例	安心・安全なまちづくりは、自らの安全は自らが守る意識の下に町、町民、事業者及び土地・建物・店舗等の所有者のそれぞれの責務、役割を明らかにするとともに地域住民の犯罪防止意識の高揚を図り、地域安全活動の推進により、安心・安全な地域社会の構築を目的とする。	原案可決

条例改正

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第133号	乳幼児医療費助成条例の一部改正	3月1日以降、これまでの医療費助成の受給に際しでの面倒な申請手続きが不要となり、町で発行する受給資格者証を提示するだけで、それぞれの医療機関で支払った金額が合算され、小額であっても確実に給付されるようになります。(県内の医療機関)	原案可決

指定管理者

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第117号	森のやかた湯ったり館の管理運営に関する指定管理者の指定	9月1日から休館していた森のやかた湯ったり館。11月7日の臨時会において、竹中地区生産加工組合(組合長 山内一範氏)が指定管理者として指定され、12月5日より営業を再開しています。指定の期間は平成23年3月31日まで。	可決

契 約

議 案	提 案 理 由 等	結 果
第138号 第139号	<p>県北部豪雨災害によって故障した川添排水機場内各施設の災害復旧工事です。</p> <p>【機械施設】 契約金額 7350万円 契約の相手 福岡市 株式会社 鶴見製作所</p> <p>【電気施設】 契約金額 6300万円 契約の相手 鹿児島市 株式会社 栄電社</p>	可 決
<p>工事請負契約の締結</p> <p>第1号 第2号 第3号 第4号</p>	 <p>門前排水機場各施設の新設工事です。</p> <p>【ポンプ施設】 契約金額 75,442,500円 契約の相手 福岡市 株式会社石垣</p> <p>【除塵機施設】 契約金額 42,000,000円 契約の相手 鹿児島市 株式会社ミゾタ</p> <p>【電気施設】 契約金額 86,835,000円 契約の相手 鹿児島市 株式会社九電工</p> <p>【土木工事】 契約金額 56,700,000円 契約の相手 湧水町 株式会社山下組</p>	

陳 情 書

議 案	提 案 理 由 等	結 果
第15号	<p>厚生労働省は18年4月の診療報酬改定でリハビリテーションを新たに4系統疾患別と編成し、患者にとって保険診療で受けられるリハビリが制限された。診療報酬上の評価がないリハビリ継続の困難となる患者はその後の生活に大変不安を抱えている。また、リハビリから撤退せざるを得ない医療機関も発生しており、医療費抑制のためだけに一方的に切り捨てる改定は納得できない。</p> <p>【提出者】 くりの後庵クリニック 新内千鶴子氏 ほか 鹿児島県保険医協会</p>	採 択

意見書を提出しました

発 議	提 出 理 由 等	提出先
第8号	<p>次の点について政府は早急に対応されるよう要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要なりハビリ阻害状況の実施調査の実施。 2. 給付日数を撤廃し、患者の実績に応ずるリハビリの実施。 3. 施設基準を重症心身障害児施設等に限定せず、脳血管リハビリ等4疾患リハビリ施設を含める。 4. 効果が認められる全てのリハビリを医療保険での継続が可能とする。 	<p>内閣総理大臣 安倍晋三氏</p> <p>厚生労働大臣 柳沢伯夫氏</p> <p>財務大臣 尾身幸次氏</p>

を問う

12月12日及び13日の2日間、議員7名が15項目について質問しました。

この内容は1議員に対し2時間以内で質問・答弁されたものを質問者が自ら要約したものです。

町管理施設に福祉補助具の設置を



川田 耕哉 議員

設備の設置と人的バリアフリーの促進に努める

米満 町長

川田 高齢・障害者の行動支援及び介護者の負担軽減のため、利用頻度の高い町管理施設の階段の左右に手摺り等の福祉補助具の設置を伺う。

町長 車椅子の常設、手摺り・スロープの設置及び点字プレート等の敷設等バリアフリー化に努めてきた。今後、設備の設置の見直しを進めつつ、職員による誘導等人的バリアフリーの促進に努めていく。

掘削土の有効活用

川田 川添狭窄部の掘削工事で発生する64万㎡の捨て土の処置を伺う。

町長 発生土の受入れを依頼されており、資源として有効利用を図るため、受入れ先の早急な確保を図りたい。



福祉補助具の景況

川田 将来、吉松小・中学校のグラウンド整備が予定されている。グラウンド面を約2m高上げすれば約1万㎡が有効活用できる。整備の前倒しを町長・教育長に伺う。

町長 捨て土を活用していきたいが、排水面の検討が必要と思う。

教育長 小学校は、仮設校舎の設置場所や工事車両の出入りから同時並行は難しい。中学校は捨て土を活用した整備を進める。

イベント

川田 子供達の夢を育むことと湧水町の情報発信の観点から次の提案について伺う。
子供達の手紙、町のパンフ、ゆうすげの種等を同封した風船を各学校から同時に飛ばす。

町長 実現に向けて努力する。

教育長 子供に夢を抱かせるセレモニーとなる。町で行うイベントの一環として学校と協議し、参画について検討する。

川田 栗野岳の草原に常緑樹で町のシンボルマークを子供を含む町民のボランティアによって、植樹する。

町長 栗野岳の自然条件・景観とのマッチが要求される。

関係団体等と調整しながら実施に向け検討する。

ここが
聞きたい!

議員7名が

町政



吉松生活改善センターの今後の運営計画は

綾織 まち子 議員

使用料経費を比較しても採算の取れる状況でない

米満 町長



吉松生活改善センターの作業風景

綾織

吉松生活改善センターは将来どうなるのか、指導員はいるのか、今まで通りの利用ができるのだから心配だという声があります。今後の方針は指定管理者制度の導入での運営となるのか伺う。

町長

吉松生活改善センターの利用につきましても、町内の

各種加工グループや不特定多数の方々が利用されていますが、利用者の多くが年間を通して1〜2

回程度と言つ人も多い状況にあります。また、これまでの決算における施設の使用料と維持管理経費を比較しても採算の取れる状況ではないことから、当分の間は現状を維持しながら、今後、使用料の改正等を含め指定管理者制度及び他の方法の導入を検討して行く考えであります。

綾織

どういった内容の現状維持か伺う。

町長

設置された時の旧町の目的から考えると、指定管理者ではなく、町と利用する住民の団体による運営により、農村女性の自主的活動を促し、地

域住民の連帯意識の高揚の場を持てるのではないかと伺う。

綾織

指定を受けた団体は、これまで通り住民の活用を促進し、また団体が利用者の指導も行いながら、かつ自らも施設を活用できる等、施設の効率的な運営が可能となるような事項を定める考えはないか伺う。

町長

指定管理者制度及びその他の制度を導入した場合で、ご意見のように施設の活用が効率的に運用できるようにしていきたいと思えます。

綾織

運営が軌道に乗るまでの間（運営状況にもよるが3ヶ月から半年位の間）光熱費等の管理費用を補助する考えはないか伺う。

町長

最初に申し上げましたとおり、当分の間は現状の体系で進めて行きたいと思えます。

今後の河川整備の方向性は



宮里 廣昭 議員

激特事業での早期河川改修が図られるよう要望

米満 町長

宮里 本町の一級河川の整備が進んでいるが、栗野と吉松とでは整備の進捗に差があるように思うが、今後の取り組みについて伺う。

町長 現在行われている栗野地区の工事については、17年14号台風災害関係の工事が主であります。吉松地区についても川添狭窄部の調査測量が行われており、今後の激特事業での早期河川改修が図られるよう強く要望していきます。



川添狭窄部の拡幅が急務とされる井堰上流

宮里 本町の河川に対する整備は、災害に係る原形復旧に限られているようだが、今後河川に対する考えを伺う。

町長 町で管理する河川は栗野地区20河川、吉松地区13河川で、河川整備には莫大な費用を要する、災害復旧事業等を活用しながら、護岸整備を行っています。寄州除去等については緊急度を考慮しながら、年次的に行いたい。

教育行政

宮里 教育基本法が国会で可決されて問題になっておりますが、基本法に対する教育長の考えを伺う。

教育長 今後、国の動向を注視し、法改正の趣旨やそれに基づく国の施策に即して、本町教育行政施策の改善、充実に

向けて取組んでまいりたいと考えています。

宮里 学校教育、家庭教育の中でいじめ、体罰、不登校に対する問題はありますか伺う。

教育長 いじめ問題については、本町内各学校においてもいじめやいじめの疑いのある事案が発生しており、その都度、児童生徒や学校と保護者間の話し合いを基に指導を行い、ほとんどの事例が解決されています。また、不登校の問題については、生徒指導上の最重要課題に位置づけ、学校、教育委員会、関係機関が連携して解消に向けて努力しています。教職員の体罰については、体罰の疑いや体罰ではないかと訴えられたものについては詳細な調査を実施し、内容によっては厳重な注意や措置をするようにしています。



川内川激特事業における湧水町の展望は

福島 勝男 議員

住民と一体となって国の対応を見守る必要がある

米満 町長



船渡橋下流の河川改修

福島 川内川の激特事業が採択されたが、事業の進め方と湧水地区の展望を伺う。

町長 今後一般災害復旧、一般河川改修、17年14号台風関連事業の実施の段階を経たうえで激特事業の実施となり

ます。本町においては17年14号台風対策として決定していた川添・永山狭削部の開削と、寄州除去をまず実施し、さらに激特事業において5ヶ年で問題箇所に対応をして行く事となりますが、今後、町・議会・住民が一体となって国の対応を注視して行く必要があります。

福島 吉松地区被災者の一致した想いは阿波井堰撤去であり、行政・議会共に認識しているところであるが、水利権等ハードルも高い。上下流バランスのとれた改修の観点等町長の見解を伺う。

町長 激特採択に係る国との折衝で強く要望し、川内川河川整備計画に盛り込まれる事となり、一年半後に具体化される見通しであります。チツソの水利権が平成23年に切れる事もあり激特の最終年度の実現を期待しています。

福島 湯谷川及び北方地区内水対策の見通しを伺う。

町長 湯谷川については、19年雨期前までに緊急対策で護岸の嵩上げを実施し、さらに激特事業で抜本的改修を目指します。北方地区においては激特により河床堀削、

寄州除去を実施し、流下能力拡大により解消出来ると思えます。

福島 阿波井堰撤去に時間がかかるなら、当面河道拡幅による流下能力拡大は必須であるがその見解を伺う。

町長 激特事業の中で実現出来るよう強く要求致します。

福島 桶寄川対策について伺う。

町長 川内川本線の流下能力拡大なくして桶寄の嵩上げは考えられない。川添・永山狭削部堀削土利用等本線改修と並行改修を行うべきと思っております。

福島 激特に係る発生土量の取り扱いを伺う。

町長 土量は64万³m以上あり有効利用を図っております。

行政改革大綱の今後の方針は

境田 公明 議員

実施計画書を作成中

米満 町長



境田 行政改革は、財政改革との双方同時に考えていくべきことと考えるが、町長はどうか考えているか。

革について行革の中どのように反映させていくのか。

町長 「職員人材育成基本方針」を作成しこれに基づき、各種研修を通じて効果的な人材の育成を図りたい。

境田 決算資料の「主要施策の成果説明書」の書き方は、事業の成果としての、良し悪しの評価ができる成果説明書にすることが、次年度につながる事業の継続などを判断する時に重要だと思えますが、町長の考えはどうか。

境田 11月30日町内に不審者が出没したが、そのときの対応は適切にされたか。

教育長 不審者情報の連絡を受け「警察・学校安全情報ネットワーク」システムで、適切に対応しました。翌日には、各学校で児童生徒への安

不審者対策

町長 翌年度に良い点、悪い点を生かしながらやっていききたい。この件については、内部検討を深めていきたいと思えます。

全指導を実施しました。

境田 連絡を受けた時点で、防災無線を使い、緊急放送での地域の呼び掛けは、何故できなかったのか。

教育長 警察に配慮した結果です。内容によつては放送できるものもあります。今後は警察と放送をして良さを相談していきたいと思えます。

吉松小学校校舎建設

境田 水害により計画はどのようになつてきているのか、現在の進捗状況はどうか。

教育長 検討委員会で検討された概要は、北校舎と管理棟を一体化した建物です。高床構造案と盛り土の両案です。位置については、現在の管理棟より北側に意見の集約がなされています。今年度中には設計を委託したい。



活用が期待される青パト

境田 行政改革の一つとして職員の意識改

町長 職員による財政専門部会において、自主財源の確保や年次の削減額を明記した「実施計画書」を作成中。また合併時に作成した「財政シミュレーション」の見直しを含め、行革大綱の整合性を図り、平成17年度を基準とした「財政シミュレーション」の作成を行っております。



災害救助に高速道路の活用を

議員 文夫 議員

必要性は感じています

米満 町長

議員 先の水害で吉松地区が完全に孤立した。吉松PAに簡易インターを開設するべきと思うがどうか。

町長 必要性は感じていますが、利用度の面や設置に3億円程度必要になることなど非常に困難であります。

議員 刑務所や自衛隊演習場など特別に緊急を要する施設もあり開設する条件は充分である。災害時に救急患者が発生したらどうするか。

町長 豪雨や強風時には高速道路は通行止めになり、一般車両は利用できません。緊急車両でも土砂崩壊で通行不能となる場合があります。

議員 今後は地震災害も予想される。高速道路は耐震性も優れている。片側車線の出入口に

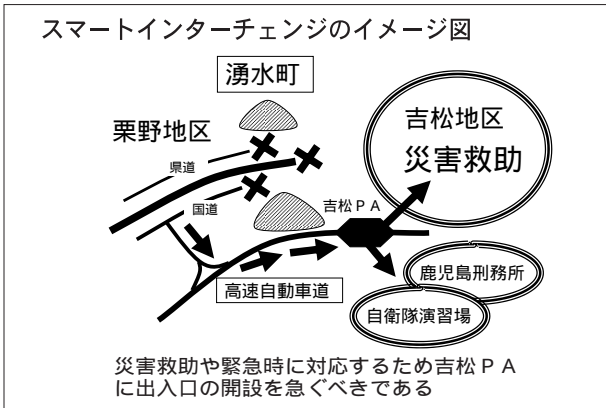
すれば費用はかからない。せめて緊急車両だけでも出入りできるようにすべきと考えるがどうか。

町長 検討してまいります。

川内川激特事業はいつ着工するのか

議員 水害対策事業の具体的内容を伺う。

町長 阿波井堰の上流部の開削は17年14号台風で予算がついており



超少子高齢社会を警告

測量が始まっています。寄洲除去の場所等についてはこれからです。

議員 激特事業予算はいつ頃確定するのか。

町長 現時点では何とも言えません。国が事業計画を検討中であり、安全安心な町づくりに向けて、しっかり要望してまいります。

活用したい吉松パーキングエリア

議員 出生率が減り続け、子どもの人口比率が世界最低になり、逆に世界一の高齢大国となった。何が原因と考えるか。

町長 女性の社会進出、価値観の変化、将来への不安等、様々な原因が考えられます。

議員 少子化による問題はなにか。

町長 労働力や消費の低下による経済問題。年金や社会保障システムが崩れてしまうような大きな社会問題が考えられます。

議員 白書では2050年には若者15人で高齢者1人を支える超高齢社会になると警告している。少子化対策をどうするか。

町長 国の動向を見極めながら支援体制や環境整備を図ってまいります。

基礎住民としての自営業の定住安定の強化策を



篠原 三千人 議員

関係団体等と更に連携、研究、対策強化を図る

米満 町長

篠原 棚田、イルミネーション、タすげ、芸術、遺産など町おこしの成果が見える。グリーンツーリズムで生産者、商工業者の連携が相乗効果を産む。実業化に向けて、合併協議会や高校再編協レベルの官民プロジェクトチームを作る考えはないか。

町長 農村地帯の自然や文化とひとの資源を生かし、都市や他地域との交流を通じ精神的、経済的潤いをもたらす「新しいまちづくり」と



10年後はどうなる？コンパクトシティはつくれるか

考え、大分県安心院の農家民宿などを学び進め成功事例も生まれている。ただ情報発信的サービスで終り、何が残るかを含め、経済効果や実業化が研究課題。

教育長 商工観光課の旧牧園、横川、霧島協議会があり、体験活動等生涯学習の観点で連携支援を図る。

篠原 住んでいる土地や生活、ふるさとへの思いが町の存在であるはず。教育や医療福祉と利便性に経済等の安心安定創造が行政職務。官民一体の住民参画も提唱されている。住民中核の自営業の激減への実態認識と後継者対策は。

町長 当町は鹿北製油、霧島芸術工房、トヨタユーゼックの進出やタテノの増設など企業環境は良い。一方、倒産企

業もあり、まだ万全でなく単純にはいかない。商店街も駅中心に「互いに競い合い刺激し合う店作り」「やる気」が必要である。農業も個別や組織経営体制の理解が望まれる。自営業後継者定住は重要課題。

篠原 高校再編や各団体統合も農山村の過疎や少子高齢化、即ち後継者就業の不安定の結果。振興計画の人口一万二千人は行政組織や予算の観点が強。大山町は世帯等所得目標を掲げ、具体的政策を進めてきた。自営業の5年10年後の後継者就業実態をもつと掘下げ、自然淘汰と生活維持の収入分配を見据えるべきだ。

町長 商工会を中心に各団体や民間経営実態や実践を学び、政策強化を図りたい。

3 議員定数・議員報酬 月議会までに結論

議会改革調査特別委員長 篠原 三千人

議会改革の背景と課題

地方議会は、本来住民と一番密着した議会であるが、市町村合併による大幅な定数削減と自治区域の拡大のなかで、時代的に高度で多様な課題に直面、地方分権（主権）における自己決定・自己責任が行政と共に問われ、更に国・地方の財政改革のなか、財政削減を求められています。

そのような複雑多様な背景や課題を踏まえ、効率・効果的な議会運営と財政支出の効果や整合性を調査・提言する議会を目指し、行政執行の住民福祉の向上を図るべき改革を進めていきます。

具体的対策

- 1 地方制度調査会の答申や改革先進地等の事例参考による議会の役割活性化
(例) 議会独自の審議会等の設置・住民対話や説明責任の場の拡大確保
- 2 常任委員会等各委員会所管の課題調査や提案力の強化・活性化
- 3 行政との適性距離（地方自治の両輪）
(1) 行政チェック機能と提案機能の強化及び事業の効果評価等の追跡調査
(2) 住民福祉向上の行政政策への補完補強策としての共同修正提案の活用
- 4 財政上の改革・改善の共有
(1) 議員報酬及び議員定数の見直し
(2) 各種議会運営上の効果・効率化の再考及び議会一般管理費（施設維持）の削減
(3) 行政事業の効果と整合性の調査・提言
- 5 議会事務局の機能強化
(1) 議会運営（各委員会）や調査研究の日程や事務に対応できる事務局体制の機能強化

これまでの経過

第2回委員会

「議会の当面する諸問題について」

講師・県町村議会議長会 徳留事務局長

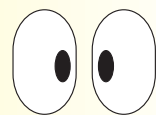
- ・地方制度調査会の資料参考（改正法の説明）
- ・市町村合併による全国の町村議員は半減（一部市議会議員にも移行）議員報酬から強制積立の共済年金・退職金原資の枯渇状況。
- ・前記による負担減により県議長会事務局運営も厳しくなっている。市議会長会との連携や合併も視野にある。
- ・国や地方の財政状況と地方分権の三位一体改革の意図と現実等。

第3回委員会

改革の背景・課題・目的と具体的改革の内容を再確認した後、報酬と定数について見える形で住民の理解を深めようと意見の収集を行い、議員報酬もしくは議員定数とその両方になるか結論を出し、三月議会で議案提出することに合意しました。

見 やすくなりました

議場傍聴席手摺りを改修



新しくなった傍聴席



旧傍聴席



議場傍聴席の手摺り壁が木製だったことから、傍聴席の最前列では一部視界が遮られ、議場全体の視界が悪い。議員が見えない。などの意見を傍聴者から寄せられていましたが、この度、手摺り壁をアクリル板に改修しました。

これにより、議員はもちろん議場全体が見渡せるようになり、より傍聴しやすい環境となりました。是非ご来場下さい。

傍聴へどうぞ！
3月議会は
上旬予定

議会を見学しました。

すごいなあ

吉松小学校 6年 亀澤 将

「うわあ、みんなすごい。」

議会では、台風や災害のことを話合っていました。ぼくはとても感激して、一回拍手しそうになりました。議員さんと町長さんは、湧水町のことをとても考えてくださって、すごいなあと思いました。



真剣に聞き入る吉小6年生

編集後記

昨年は、県北部豪雨災害と大きな災害に見まわれ、住民の皆様が力強く復興に努力され、新しい年を迎えられた事に対し、心よりお慶び申し上げます。

私ども広報委員も災害、予算、事業等をわかりやすく伝えてまいりました。今後も皆様に期待される広報に努めてまいります。御意見等ありましたらお聞かせ願いたいと思います。
(宮里)

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 宮里 廣昭
 - 委員 飯屋 良二
 - 委員 境田 公明
 - 委員 池上 滝一
 - 委員 川田 耕哉
 - 委員 亀澤 中

